

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04030100

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	20	防犯・交通安全の推進	事業優先度	B		
単位施策	2	交通安全対策の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武町交通安全推進委員会補助事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	4 住民生活課		
事業主体	町		関係課	#N/A		
事業指標	交通人身事故発生件数		関係例規・法令名	#N/A		
事業目標	0件		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	雄武町交通安全推進委員会補助	雄武町交通安全推進委員会補助	雄武町交通安全推進委員会補助	雄武町交通安全推進委員会補助	雄武町交通安全推進委員会補助	雄武町交通安全推進委員会補助
	雄武町の交通安全に係わる住民の育成並びに、幼児、児童、高齢者への交通安全思想の高揚を図るため普及、啓蒙を推進することにより交通安全に寄与する。	※新入学児童分ヘルメット購入(40個)	※新入学児童分ヘルメット購入(40個)	※児童用ヘルメット購入・貸与(40個)	※新入学児童分ヘルメット購入(40個)	※新入学児童分ヘルメット購入(40個)
計 画 事 業 費	事業費(千円)	2,762	538	556	556	556
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	2,762	538	556	556	556	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,755	538	538	532	609
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	2,755	538	538	538	609	
関 連 事 項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心となり、交通安全活動を推進している。(25年人身事故件数1件)	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心となり、交通安全活動を推進している。(26年人身事故件数4件)	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心となり、交通安全活動を推進している。(27年人身事故件数2件)	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心となり、交通安全活動を推進している。(28年人身事故件数4件)	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心となり、交通安全活動を推進している。(29年人身事故件数5件)
		※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 0件	0件	0件	0件	0件
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 100%	97%	97%	96%	110%
	全体達成率 19%	39%	58%	78%	100%	
	備考欄					

事業名	雄武町交通安全推進委員会補助事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	安井 雅憲
		評価者 作成者 職氏名	住民活動係	小俣 博和

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	人身事故発生件数
【抱える課題やニーズは】	人身事故数や物損事故数は低水準にあるものの、依然として発生している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	交通事故発生件数の減少を図るため、各事業所及び団体への交通安全啓発活動を推進	① 人身事故発生件数	目標年度 平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	交通事故のないまちを実現するため交通安全啓発活動を推進		目標値 0件
			実績値 5件
			達成度 #DIV/0! %
		②	目標年度 平成29年度
			目標値 〇〇
			実績値 〇〇
			達成度 #DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	運営費補助金の交付	安定した組織運営を支援するため、運営費補助を行った。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	雄武町交通安全推進委員会は、全町挙げての交通安全活動の中心となる団体であることから、組織の安定運営のため必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	新入学児童への自転車用ヘルメット支給、各種街頭啓発事業の実施により、交通事故の抑制と町民の交通安全意識の高揚が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	関係諸団体や警察と連携して事業を実施することで事業費抑制に努めており、効率的な事業展開が行われている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	全町を対象とした各種交通安全事業を行っていることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
安定した組織運営がされており、概ね計画どおり事業が実施された。警察署や各関係機関の協力により、全町を対象とした各種啓発事業を推進し、全町的に交通安全運動に対する意識の高揚が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
交通安全活動の推進に必要な団体であることから、今後も継続して事業を進める必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止